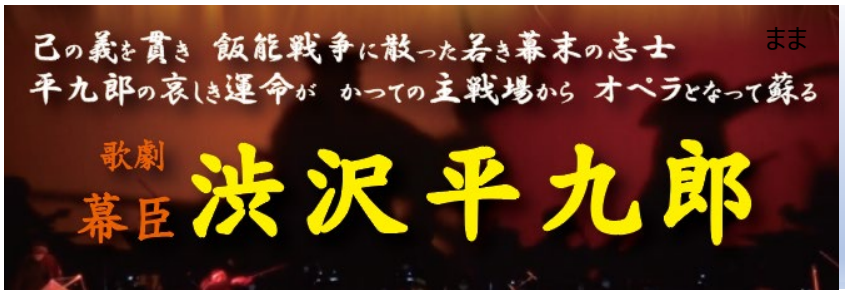
おんがく広場 第142号

令和3年(2021) 10月14日(木)

Facebook,Twitterにも掲載／リンクフリー／御自由にコピーして下さい　令和2年(2020)4月10日創刊

発行・クッキー会　発行責任者・加藤良一

連絡先　rkato@max.hi-ho.ne.jp



歌劇 幕臣・渋沢平九郎 第２回飯能公演決定！

ソリスト以外マスク着用 座席数は定員の半分に…

今年2月第1回公演を**渋沢平九郎**の地元埼玉県**深谷市**で開催しましたが、平九郎が自決した飯能での公演を希望する多くの声を受け2回目の公演が決まりました。

・2021年12月11日(土)14時開演
・飯能市市民会館大ホール

今回は文化庁「**ARTS for the future!**」補助対象事業として助成を受けることができ、渋沢平九郎ゆかりの深谷市・越生町・渋沢栄一記念財団・テレビ埼玉・能仁寺・飯能商工会議所及び日本文化芸術活動推進協会他の後援を頂いています。

■脚本:酒井清・磯野隆一・小山充子・齊藤則昭／音楽:西下航平／指揮・芸術監督:池田開渡／管弦楽:おーけすとら・ぴとれ座／合唱:日本合唱協会／演出:堀越飛鳥／音響:宮沢正光／照明:㈱ライトウェイブ／衣装:㈱武器屋／舞台美術:劇団埼芸／舞台監督:葛西伸一

■ソリスト陣は、渋沢平九郎:藤牧正充(テノール)／ゆき:山田千尋(ソプラノ)／尾高惇忠:根岸一郎(テノール)／尾高長七郎:上田誠司(バリトン)／渋沢成一郎:植田真史(バス)／渋沢栄一:尾澤栄一(バス)／天野八郎:井出壮志朗(バリトン)の7人、ゆき役以外は第1回公演と同じです。

■チケットは全席指定4,500円。詳しくは**渋沢平九郎プロジェクト**↓をご覧ください。プレトークとしてゲストにNHK大河ドラマ「青天を衝け」出演者をお招きしてお話を聞くコーナーもあります。　https://www.unist.co.jp/heikuro/

2月の深谷公演では三密を避けるには、オーケストラがピットに収まり切らず、やむを得ず舞台後方に置くという極めて異例の形での演奏でしたが、飯能公演ではやや人数を減らせばピットに入りきります。オケが後方ということはソリストや合唱からは指揮者が見えません。そこで苦肉の策として、指揮者を映したモニターを舞台前面に配置し、それを見ながら歌うという大変厳しい状況でしたが、今回は舞台前方のピットにオケがいるので、安心して歌えます。

ソリストはPCR検査陰性確認後マスクを外し、合唱とオケは原則マスク着用、座席数は緊急事態宣言解除後も半数⤴のままとします。いずれにしても、まだ完全に自由な演奏とはなりませんが、公演できる環境が僅かずつですが整ってきたのは嬉しい限りです。

第1回公演は『**コロナ禍乗り越えオペラ上演 ＜歌劇 幕臣・渋沢平九郎＞**』としてAmazonより出版しています。ご興味をお持ちの方は、試し読みもできますのでぜひご覧ください。
https://www.amazon.co.jp/gp/product/4802092393

全日本合唱コンクール 特例開催

全日本合唱連盟は本年度のコンクールに限り特例を付けて開催すると10月8日付で発表しました。特例の内容は以下の通りです。

〇審査方法：府県大会・支部大会が通常の形で開催できない場合は、事前収録された音声・動画による審査で、上部大会へ代表を推薦することができる。

〇出演人数：(1)府県大会・支部大会では、主催者が「出演上限人数」を事前に設定する。(2)出演希望人数が「出演上限人数」より多く、人数制限のかかる団体については特例を適用する。

〇コロナ禍により来場できない団体への特別救済措置：行政その他から県境をまたぐ移動の制限を求められる場合などを考慮し、会場に来場できない団体は、録音による参加を認める。

〇マスクの着用および距離：全日本合唱連盟ガイドライン第3版に加えて、県大会と支部大会とでマスク着用等の方針が違うことがあるので、各大会の要項を確認する。

〇ガイドラインと文部科学省通知との齟齬に関して：12月20日付け文科省・文化庁の通知で示されているマスク着用の要否や歌唱時の距離は、合唱連盟のガイドラインと一部異なる箇所があるが、文化庁では「コンクール等では、学校の団体であっても、距離を十分にとって、換気がなされていれば、ガイドラインと各種通知との整合性が取れる」としているので、ガイドラインに沿った運営とする。

〇審査基準：マスク有無に関らず、音楽表現によって評価する。府県・支部大会においても、同様とする。